

松浦川水系川古川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.3m未満の区域
- 0.3m～0.5mの区域
- 0.5m～1.0mの区域
- 1.0m～3.0mの区域
- 3.0m～5.0mの区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m以上の区域

市町境界

河川等範囲

浸水想定区域の指定の対象となる県管理区間

1 説明文

(1) この図は、松浦川水系川古川について、水防法の規定により想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の川古川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により川古川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮しておりませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 佐賀県

(2) 指定年月日 令和 6年 9月19日

(3) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項

(4) 対象となる河川（実施区間） 松浦川水系川古川（県管理区間（起点から松浦川合流点まで））

(5) 指定の前提となる降雨 川古川流域の6時間の総雨量635mm

(6) 関係市町村 武雄市

「測量法に基づく国土院院長承認（使用）R 2Jhs 349」

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 349」